

研究開発 マネジメントリーダー²⁰²¹ 養成プログラム

研究開発の高い成果と効率化を両立させる
マネジメントをめざして

オンライン開催

特徴

1. 理論と実践から研究開発の基礎を幅広く学ぶ
2. ベーシックな内容に加えて、研究開発職場に特化した人や組織のマネジメントも扱うプログラム
3. 個社のミクロな視点のみならず、次代を担う研究開発職場のリーダーに必須のグローバルトレンドを捉えたマクロ視点の講義も充実

開催概要

■日 程 10月22日(金)・23日(土)・28日(木)・11月17日(水)・20日(土)・12月4日(土)(全6日間)

■対 象 技術や研究開発部門、ならびに事業企画や経営企画部門のマネジャー及びリーダー
技術・研究開発部門のマネジメントに携わる新任マネジャーやマネジャー候補の育成としてご活用ください。

■会 場 オンライン(Zoom)

※オンライン受講環境をご用意できない方には、経営アカデミー教室(東京駅徒歩3分)でのオンライン受講も可能です。お一人1台ずつノートPC(インターネット接続)、及びヘッドセットをご用意しております。利用を希望される際は、「教室受講希望」の旨をお申込みページ「備考」欄に入力ください。人数に限りがございますので、ご希望の方はお早めにお申し付けください(先着順で申込みを受け付けます。満員の場合はキャンセル待ちとさせていただきます)。

※講師もオンラインから指導を行いますので、教室では登壇いたしません。ご了承ください。

■参加費 賛助会員: 291,500円(教室受講357,500円)

一般参加: 335,500円(教室受講401,500円)

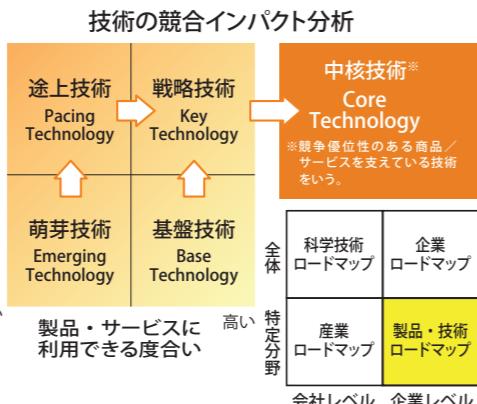
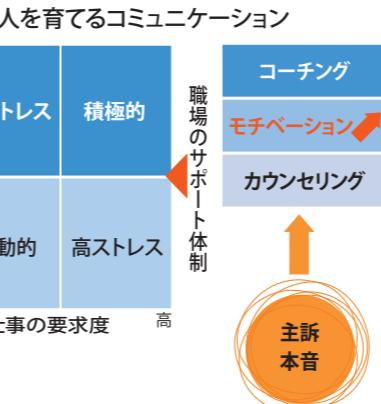
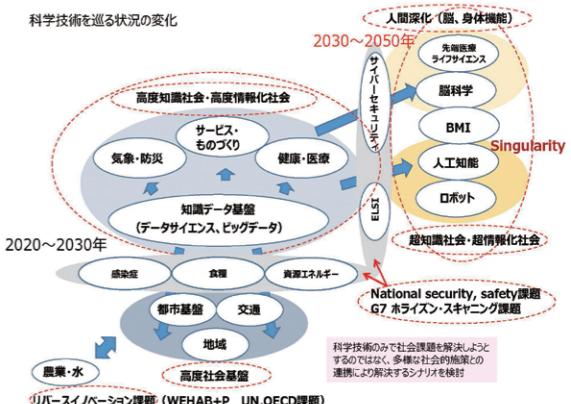
*お一人様あたり、消費税・資料代を含みます。

*賛助会員の詳細につきましては事務局までお問い合わせ下さい。



公益財団法人 日本生産性本部

実務家や他社研究開発部門の方々との議論を通じた刺激ある研修環境を実現します ━━━━━━ ※各セッション講師や講義内容、開催日程は都合により変更になる場合がございます。

セッション	研究開発マネジメント基礎			研究開発におけるイノベーション創出		
日時	10/22(金) 9時30分～15時00分	10/23(土) 9時30分～15時00分	10/28(木) 9時30分～17時00分	11/17(水) 9時30分～15時00分	11/20(土) 9時30分～15時00分	12/4(土) 9時30分～17時00分
テーマ	中長期R&D マネジメント①	中長期R&D マネジメント②	コミュニケーション力向上	研究開発職場における イノベーションの進め方	研究開発成果にどうすれば 実効性を付与できるか	イノベーション推進
講師及び 主な略歴	 <p>東北大学 名誉教授 立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 教授 長平 彰夫 氏</p> <p>1979年北海道東北開発公庫（現日本政策投資銀行）、東北支店開発担当参事役兼産業支援担当参事役（新規事業担当、ベンチャー担当）等を歴任。2002年東北大学大学院工学研究科 技術社会システム専攻 教授。など</p>	 <p>公益財団法人日本生産性本部 カウンセリングマネジメント・センター 三浦 哲 氏</p> <p>(公財)日本生産性本部入職後、管理者向けとしてマネジメント、目標管理実践、人事考課、部下育成などの研修を行う</p>	 <p>富士フィルム株式会社 R & D 統括本部 イノベーションアーキテクト 中村 善貞 氏</p> <p>1984年富士写真フイルム入社、足柄研究所にて写真材料用素材ならびに商品開発。2002年新規事業開発本部にて新規事業および同商品開発。2006年ライフサイエンス研究所にて機能性化粧品開発リーダー、2008年同研究担当部長。など</p>	 <p>アサヒクリエティーンドイノベーションズ株式会社 社長付シニアエキスパート 川村 公人 氏</p> <p>1987年アサヒビール株式会社入社、吹田工場で設備増能力担当。2004年アサヒビール技術開発研究所バイオマスグループリーダー。2011年アサヒグループホールディングス豊かさ創造研究所長兼山東朝日緑源高新技術有限公司研究所長。など</p>	 <p>滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 (元ソニー株式会社 本社 R&D 戦略部 シニア R&D マネジャー、CTO 補佐) 小笠原 敦 氏</p> <p>1988年ソニー株式会社入社。SOI-MOSデバイス、SRAMの研究に従事。その後CTO補佐等を歴任。2000年より科学技術庁。2004年～2011年経済産業省、2005年～2008年立命館大学大学院教授、2012年～2015年文部科学省文部科学事務官。など</p>	
主な学習項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営戦略に関する基礎理論 ● 討議 S社の事業戦略・研究開発戦略 ● 技術の戦略的マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理者に求められる役割と能力 ● メンタルヘルスとコミュニケーション ● 討議 研究開発職場における人事考課面談 	主な学習項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 実例紹介:新規事業立ち上げについて ● 討議 イノベーションが進まない障害 ● 実例紹介:イノベーション事例 	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスイノベーション ● イノベーションとは何か ● 討議 3Mの研究開発 	
講義紹介① 中長期R&Dマネジメント:「戦略的に考える」	長平 彰夫 氏	講義紹介② コミュニケーション力向上:「人を育てる」	三浦 哲 氏	講義紹介③ イノベーション推進:「市場と技術の長期トレンドを読む」	小笠原 敦 氏	
<p>戦略に関する基礎理論をおさえ、戦略立案のステップ、技術戦略策定プロセス、技術ポートフォリオ・マネジメントの学習を通じて経営戦略の中での技術や研究開発の位置づけを考えます。</p> <p>ケーススタディ「S社の事業戦略・研究開発戦略」の討議を通して理解を深めるとともに、実践への応用を図ります。</p>	<p>技術の競合インパクト分析</p> 	<p>研究開発部門のライン・マネジメントと方針展開に不可欠な知識とスキルを、事前課題とセッション当日のロールプレイングを通じた実践を交えて、学習します。</p> <p>特に、組織の活性化やメンバーのモチベーションを最大限引き出すために有効なカウンセリング・マネジメントの考え方と技法、ライン・マネジャーに求められるリーダーシップとマネジメントサイクルを再確認します。</p>	<p>人を育てるコミュニケーション</p> 	<p>世界的な技術・産業政策の潮流を把握し、イノベーションの本質と日本企業の研究開発の問題点を正しく理解すると同時に、研究開発の創造性と効率性をどうやってマネジメントしていくかのポイントについて、3Mの研究開発のあり方と施策の有効性に関する議論を通して検討していきます。</p>		

[参加者の声]

■ プロジェクトの実例から、座学では得にくい実感をともなった具体的なモチベーションやプロジェクトでの対応を講義いただき、非常に参考になった。
(技術本部 総合研究所主任研究員)

■ マネジャーになって約2年が経過した自分にとっては、非常にタイムリーな教育内容でした。メンバーに任せず、自分でやってしまう傾向があったので、講義を聞いて、反省した次第です。
(事業本部 マネージャー)

[昨年の参加企業]

NECディスプレイソリューションズ(株)、関西ペイント(株)、JFEエンジニアリング(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、凸版印刷(株)、三菱ケミカル(株)、日本コルマー(株)、日本デルモンテ(株)、日本特殊陶業(株)、雪印メグミルク(株)、ライオン(株)、G7ホライズン・スキーリング課題(WEHAB+P UN,OECD課題)

お申込み要領

- お申込みは、申込受領後、確認のご連絡を差し上げます。右下のお申込み Web ページからお手続きください。
- 参加のご案内および請求書は、開催 1 ヶ月前よりお送りいたします。
- お申込み後、ご参加できなくなった場合は、代理の方にご参加いただくことも可能です（6 日間通してご参加いただける方）。代理の方のご参加が難しい場合は、8 営業日前までにご連絡ください。それ以降はキャンセル料を承ります。キャンセル料算定基準は以下の通りとなります。

	キャンセル料
開催 8 営業日前まで	なし
開催 7 営業日前～4 営業日前	参加料の 30%
開催 3 営業日前～1 営業日前	参加料の 50%
開催当日・不参加	全額

お申込み・ご案内ページリンク
<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/004505.html>



QRコード

■ お問合せ先 ■

公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー 技術経営領域担当 吉田／角田

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-2 新丸の内センタービル 6 階

TEL : 03-5221-8455 FAX : 03-5221-8479

メールアドレス : academy_info@jpc-net.jp

【個人情報の取扱について】

公益財団法人日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取扱います。下記の内容をご確認の上、派遣責任者の方はご参加者の同意を得られたことを確認の上お申し込みをお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

- 利用目的 ①本セミナーに関する各種連絡、資料等の作成・配布、会合開催日やチーム討議での利用 ②日本生産性本部主催のシンポジウム・セミナー等のご案内 以上の目的以外で個人情報を利用する場合、ご本人に個別理由を説明し同意を得た上で行うものといたします。
- 個人情報の第三者提供について：個人情報は、あらかじめ皆様の同意をいたすことなく、外部に提供することはありません。ただし、当日講師、参加者等の関係者に限り名簿等を配布させていただきます。
- 業務委託について：セミナーの運営にあたり、業務の一部を外部に委託しております。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
- 皆様の権利個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。その際は、以下までご連絡ください。
連絡先：公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー：03-5221-8455（公益財団法人日本生産性本部 個人情報保護管理者 総務部長）

<オンライン受講いただくにあたり、以下についてご承諾ください>

- セミナー内で使用する資料・電子ファイルの無断転用はしない。
- セミナー内容を録画、録音はしない。
- セミナーには、許可された方のみが参加する。
- 参加者ごとに付与されたID、パスワードの適切な管理に努め、他者との共有はしない。
- 受講場所は、セミナーに集中でき他者に情報がもれない環境を確保する。（大勢が業務をしている執務室やカフェなどでは受講しない）。
- 派遣元企業や参加者の費用と責任において受講に必要なPC・デバイスなどの設備一式や十分な帯域とセキュリティが確保されたネットワーク環境を確保し、使用する。（フリーのWiFiなど暗号化されていないネットワークは使用しない）。
- 上記①ないし⑥のご承諾事項（上記環境の確保・使用を含む）が守られなかった場合、以降の研修・セミナー参加許可は取り消され、受講料返金や補償はありません。
- 主催者側の障害や瑕疵以外の理由で研修・セミナーの一部または全部を受講できなかつた場合、受講料返金や補償はありません。
- セミナーを利用する第三者のオンライン会議システムの使用により派遣元企業や参加者が損害（個人情報や企業秘密の漏洩等を含むがこれらに限らない）を被った場合であっても、主催者側は当該損害について一切の責任を負いません。ただし、主催者側に故意又は重大な過失がある場合を除きます。
- 何らかの原因でセミナーが中止となった場合、代替セミナーの提供または受講料の返金以上の補償はありません。